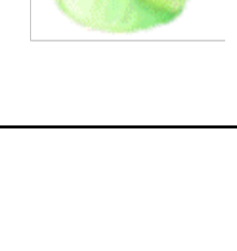
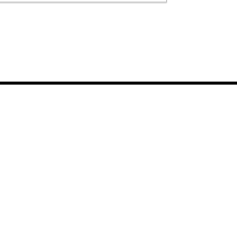
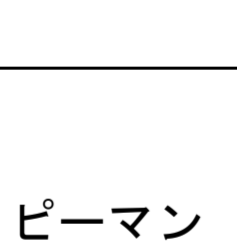


野菜の需給・価格動向レポート(平成27年5月25日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	4月の価格情報		5月の価格情報			6月	生育及び価格の6月上旬の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	指定野菜の関 東・近畿プロダ ク旬別平均販 売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	指定野菜の関東・近畿プロ ダク旬別平均販売価額						
		下旬		月上旬	中旬					
葉 茎 菜	キャベツ 	84.37	124	84.37 67.20	146	150	67.20	・千葉産は、病害虫の発生は見られないものの、干ばつの影響から、現在は平年よりやや少な めの出荷となっているが、今後は最近の降雨もあり、平年並みの出荷の見込み。神奈川県は、 病害虫の発生もなく生育は順調で、今後は出荷の終盤を迎え減少傾向となるが、引き続き平年 並みの出荷の見込み。 ・千葉産及び神奈川県産の出荷が、平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価 格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
		86.69	142	86.69 81.66	206	177	81.66	・入荷見込数量：4,800t (153) ・主産地：愛知 (56)、兵庫 (13)、大阪 (11)、熊本 (6)		
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	264.10	321	264.10	394	463	264.10	・入荷見込数量：3,840t (100) ・主産地：茨城 (34)、千葉 (30)、埼玉 (20)、輸入 (5)	・茨城産は、生育は概ね順調であるが、4月中旬以降の干ばつ傾向から現在は平年よりやや 少なめの出荷となっているが、今後は出荷も増えて平年並みの出荷の見込み。千葉県は、干 ばつの影響により生育が遅れが見られるものの、次期作の夏ねぎの出荷が増量すると見込ま れることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉県は、5月末で出荷は終了する見込 み。 ・茨城産、千葉県の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格 は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		334.73	535	334.73	585	589	334.73	・入荷見込数量：220t (96) ・主産地：徳島 (25)、三重 (17)、香川 (17)、奈良 (15)、高知 (8)、大阪 (7)	・茨城産は、作付面積の減少に加え、4月中旬以降の干ばつの影響や県内主産地が終盤を 迎えて減少することから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格 は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	はくさい 	67.05	133	67.05	134	153	67.05	・入荷見込数量：5,480t (95) ・主産地：茨城 (96)	・茨城産は、作付面積の減少に加え、4月中旬以降の干ばつの影響や県内主産地が終盤を 迎えて減少することから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格 は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		77.96	146	77.96	162	197	77.96	・入荷見込数量2,500t (92) ・主産地：熊本 (18)、大分 (16)、岡山 (8)、長野 (6)	・群馬産は、特段の病害虫の発生も見られず、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見 込み。茨城産は、作付面積の増加に加え、4月中旬以降干ばつ傾向であったものの、最近 の降雨により生育が促進されたことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 ・群馬産及び茨城産の出荷が平年並みもしくは平年より多めの出荷と見込まれることか ら、平年を上回っている価格は、平年並みもしくは平年を下回って推移する見込み。	
	ほうれんそう 	376.10	592	376.10	463	449	376.10	・入荷見込数量：1,380t (102) ・主産地：群馬 (35)、茨城 (30)、埼玉 (11)、岩手 (9)	・茨城産は、出荷の終盤を迎えているが、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込 み。長野産は、干ばつ傾向により玉肥大が遅れが生じており、今後は最近の降雨により出 荷も増えてくるものの、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・茨城産及び長野産の出荷が平年並みもしくは平年より少なめと見込まれることから、現 在平年を下回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
		396.89	710	396.89	536	513	396.89	・入荷見込数量：480t (100) ・主産地：岐阜 (70)、福岡 (13)	・佐賀産は、露地早生の出荷が終盤を迎え、干ばつの影響で小玉傾向となっており、現在 は平年よりやや少なめの出荷となっている。次期作の中晩生の出荷が始まるが、現在は干 ばつなどの影響から玉伸びがやや悪いものの、最近の好天により、今後は平年並みの出荷 の見込み。 ・佐賀産の出荷は平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年 に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	レタス (結球) 	156.23	218	156.23	174	128	120.13	・入荷見込数量：7,750t (95) ・主産地：茨城 (41)、長野 (31)、群馬 (16)	・茨城産は、出荷の終盤を迎えているが、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込 み。長野産は、干ばつ傾向により玉肥大が遅れが生じており、今後は最近の降雨により出 荷も増えてくるものの、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・茨城産及び長野産の出荷が平年並みもしくは平年より少なめと見込まれることから、現 在平年を下回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
		165.00	249	165.00	229	141	125.61	・入荷見込数量：1,500t (89) ・主産地：長野 (38)、兵庫 (38)、香川 (13)、徳島 (12)	・佐賀産は、露地早生の出荷が終盤を迎え、干ばつの影響で小玉傾向となっており、現在 は平年よりやや少なめの出荷となっている。次期作の中晩生の出荷が始まるが、現在は干 ばつなどの影響から玉伸びがやや悪いものの、最近の好天により、今後は平年並みの出荷 の見込み。 ・佐賀産の出荷は平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年 に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	たまねぎ 	91.24	109	71.02	112	113	71.02	・入荷見込数量：13,050t (100) ・主産地：佐賀 (62)、兵庫 (8)、千葉 (6)、輸入 (5)	・佐賀産は、露地早生の出荷が終盤を迎え、干ばつの影響で小玉傾向となっており、現在 は平年よりやや少なめの出荷となっている。次期作の中晩生の出荷が始まるが、現在は干 ばつなどの影響から玉伸びがやや悪いものの、最近の好天により、今後は平年並みの出荷 の見込み。 ・佐賀産の出荷は平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年 に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		91.24	117	71.02	108	119	71.02	・入荷見込数量：4,600t (87) ・主産地：兵庫 (51)、佐賀 (41)	・佐賀産は、露地早生の出荷が終盤を迎え、干ばつの影響で小玉傾向となっており、現在 は平年よりやや少なめの出荷となっている。次期作の中晩生の出荷が始まるが、現在は干 ばつなどの影響から玉伸びがやや悪いものの、最近の好天により、今後は平年並みの出荷 の見込み。 ・佐賀産の出荷は平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年 に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
果 菜	きゅうり 	253.93	294	189.84	201	228	189.84	・入荷見込数量：8,430t (105) ・主産地：埼玉 (25)、群馬 (20)、千葉 (12)、茨城 (12)	・埼玉産は、生育は順調であるものの、昨年の雪害による作付面積の減少により、引き続 き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、干ばつ傾向であるが、大きな影響もな く、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉県は、越冬作型は早めの終盤を迎え、順次出 荷が終了する産地が増えてくることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・埼玉産、群馬産及び千葉県産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめと見込まれる ことから、価格は平年並みもしくは平年を上回って推移する見込み。	
		242.77	292	177.22	205	222	177.22	・入荷見込数量：1,700t (97) ・主産地：宮崎 (40)、高知 (17)、徳島 (15)、愛媛 (10)	・熊本産は、最近の天候に恵まれ、特段の病害虫の発生もなく、生育は順調であることか ら、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、特段の病害虫の発生は見られないもの の、4月中旬までの曇天の影響により小玉傾向となっており、今後も引き続き平年よりや や少なめの出荷の見込み。愛知産は、4月中旬までの天候不順の影響により小玉傾向に加 え、降雨による病害の発生も見られ、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・熊本産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続 き平年を上回って推移する見込み。	
	トマト (大玉) 	339.78	393	209.59	330	293	209.59	・入荷見込数量：10,470t (100) ・主産地：熊本 (24)、栃木 (21)、愛知 (12)、茨城 (9)、千葉 (9)、埼玉 (6)、群馬 (3)	・熊本産は、最近の天候に恵まれ、特段の病害虫の発生もなく、生育は順調であることか ら、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、特段の病害虫の発生は見られないもの の、4月中旬までの曇天の影響により小玉傾向となっており、今後も引き続き平年よりや や少なめの出荷の見込み。愛知産は、4月中旬までの天候不順の影響により小玉傾向に加 え、降雨による病害の発生も見られ、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・熊本産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続 き平年を上回って推移する見込み。	
		321.78	369	228.53	343	307	228.53	・入荷見込数量：2,000t (105) ・主産地：熊本 (65)、愛知 (13)、福岡 (12)	・高知産は、4月の日照不足の影響により、現在平年よりやや少なめの出荷となっている が、連休後の好天により生育は概ね順調となったことから、今後は平年並みの出荷の見込 み。福岡産は、4月中旬までの天候不順の影響で病害が発生し、その後天候は回復したもの の、現在も病害の影響は残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれること から、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移 する見込み。	
	なす 	347.77	425	297.07	364	375	297.07	・入荷見込数量：4,100t (95) ・主産地：高知 (46)、福岡 (20)、群馬 (8)、佐賀 (5)	・高知産は、4月の日照不足の影響により、現在平年よりやや少なめの出荷となってい るが、連休後の好天により生育は概ね順調となったことから、今後は平年並みの出荷の見込 み。福岡産は、4月中旬までの天候不順の影響で病害が発生し、その後天候は回復したもの の、現在も病害の影響は残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれること から、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移 する見込み。	
		330.95	426	271.01	363	355	271.01	・入荷見込数量：1,300t (112) ・主産地：高知 (36)、熊本 (18)、大阪 (16)、福岡 (14)、岡山 (9)	・茨城産は、4月上旬までの日照不足により、現在は平年よりやや少なめの出荷である が、今後は最近の好天により草勢の回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込 み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年 並みに推移する見込み。	
	ピーマン 	308.36	598	308.36	566	405	251.50	・入荷見込数量：2,550t (90) ・主産地：茨城 (75)、高知 (9)	・高知産は、4月の日照不足の影響により、現在は平年よりやや少なめの出荷となってい るが、連休後の好天により生育は概ね順調となったことから、今後は平年並みの出荷の見込 み。福岡産は、4月中旬までの天候不順の影響で病害が発生し、その後天候は回復したもの の、現在も病害の影響は残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれること から、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移 する見込み。	
		283.10	550	283.10	533	358	266.65	・入荷見込数量：500t (142) ・主産地：宮崎 (49)、高知 (21)、茨城 (12)、鹿児島 (9)	・高知産は、4月の日照不足の影響により、現在は平年よりやや少なめの出荷となってい るが、連休後の好天により生育は概ね順調となったことから、今後は平年並みの出荷の見込 み。福岡産は、4月中旬までの天候不順の影響で病害が発生し、その後天候は回復したもの の、現在も病害の影響は残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれること から、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移 する見込み。	
	根 菜	だいこん 	86.59	118	86.59	123	99	86.59	・入荷見込数量：10,330t (98) ・主産地：千葉 (81)	・千葉産は、4月の天候不順の影響による肥大の遅れに加え、現在出荷の終盤を迎えて、 今後は漸減傾向となることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、平年を上回っている 価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
			94.24	98	94.24	108	83	94.24	・入荷見込数量：3,000t (104) ・主産地：鹿児島 (37)、長崎 (31)	・徳島産は、現在多めの出荷となっているが、出荷の終盤を迎えており、5月末で概ね出 荷は終了する見込み。千葉県は、4月の天候不順の影響から生育にやや遅れが見られ、小 ぶりとなり現在平年よりやや少なめの出荷であるが、早出しの産地が出揃うことに 加え、最近の天候に恵まれていることから今後は平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		にんじん 	156.99	142	156.99	129	135	133.01	・入荷見込数量：7,960t (100) ・主産地：徳島 (69)、千葉 (22)、輸入 (3)	・千葉産は、4月の天候不順の影響による肥大の遅れに加え、現在出荷の終盤を迎えて、 今後は漸減傾向となることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、平年を上回っている 価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
			148.36	136	148.36	119	125	132.62	・入荷見込数量：2,600t (214) ・主産地：徳島 (50)、長崎 (28)、宮崎 (19)	・千葉産は、4月の天候不順の影響による肥大の遅れに加え、現在出荷の終盤を迎えて、 今後は漸減傾向となることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、平年を上回っている 価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。

種類	4月の価格情報		5月の価格情報			6月	生育及び価格の6月上旬の見通し
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格(平年)	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格(平年)	上旬		
いも	-	-	-	-	-	344.00	〈入荷量が少ないため、見通しは省略〉
	-	-	-	-	-	347.90	
ばれいしょ	131.80	195	131.80	185	183	131.80	・入荷見込量：9,870t(95) ・主産地：長崎(47)、鹿児島(32)、北海道(12) ・長崎産は、3月～4月の日照不足の影響で生育が遅れていることに加え、最近の降雨により収穫作業も遅れが生じていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 鹿児島産は、最近の降雨により収穫作業が遅れが生じていることや出荷の終盤を迎えていることもあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・長崎産及び鹿児島産の出荷が、平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	131.80	212	131.80	200	203	131.80	

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局が公表する「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格の一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。
8 キャベツの平均価格は、上段が5月1～15日まで、下段が5月16日～6月31日までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、3月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,921gで前年比99%、購入金額は、1,939円で同103%となった。

また、小売物価統計によると、4月のキャベツの小売価格は、268円で過去5か年平均比110%、レタスは、521円で同115%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成26年		平成27年		前年比	前年比
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)		
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	1,755	100	99
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	1,761	99	101
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	1,939	99	103
4月	4,765	1,855	4,871	1,887				
5月	5,089	1,917	5,146	1,993				
6月	5,056	1,902	4,998	1,976				
7月	4,402	1,737	4,542	1,770				
8月	4,315	1,731	4,275	1,846				
9月	4,688	1,844	4,745	2,035				
10月	5,191	1,902	5,455	1,973				
11月	4,990	1,700	5,291	1,704				
12月	5,146	1,927	5,233	1,977				

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農漁家世帯を除く))」
注：過去5か年平均は、平成22～26年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

月	キャベツ		レタス	
	過去5か年平均	平成27年	過去5か年平均	平成27年
1月	212	229	684	827
2月	223	202	631	576
3月	205	169	500	511
4月	243	268	453	521
5月	163		365	
6月	137		317	
7月	160		332	
8月	138		400	
9月	158		591	
10月	174		469	
11月	164		429	
12月	172		546	

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 過去5か年平均は、平成22～26年の平均。
2 平成27年4月の値は、4月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比85%(中国は同93%、ニュージーランドは同60%)の2万9千トン、にんじんは、同121%(中国は同151%、台湾は同90%)の7千8百トン、ねぎは、120%(中国は同121%)の5千4百トンとなった。たまねぎは、前年をかなり大きく下回り、にんじん及びねぎは、前年を大幅に上回った。

野菜の輸入数量

区分	平成25年		平成26年		平成27年1～3月		平成27年3月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	854,042	90	884,735	104	223,274	81	90,781	94
加工野菜	1,854,162	97	1,784,891	96	412,872	93	136,228	89
野菜合計	2,708,205	95	2,669,626	99	636,147	89	227,009	91
うち中国産野菜合計	1,415,762	97	1,409,144	100	315,643	89	92,050	77
中国産シェア	52		53		50		41	

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成26年4月(A)		平成27年4月(B)		(B)/(A)
		前年比	前年比	前年比	前年比	
たまねぎ	合計	34,231	29,267	85		
	中国	26,410	24,534	93		
	ニュージーランド	5,981	3,570	60		
にんじん	合計	6,490	7,843	121		
	中国	4,559	6,895	151		
	台湾	665	600	90		
ねぎ	合計	4,522	5,416	120		
	中国	4,486	5,407	121		

資料：農林水産省「植物防疫統計」
注：1 平成27年4月は速報値。
注2：輸入数量は、検査数量である。
注3：冷凍を除く。

4 トピック — 野菜の輸入動向(平成27年1月～3月) —

平成27年1月～3月の野菜全体の輸入数量は、前年同期比11.4%減の63.6万トンとなり、昨年10～12月の減少(△16.0%)に引き続き、大きく減少した。

一方、輸入金額は、対米ドル為替の円安(平成26年1月104.9円→27年1月119.3円)及び輸入数量の約50%を占める中国における生産・加工コスト上昇による輸入価格の上昇もあり、前年同期比0.8%増の1187億円とわずかに増加した。

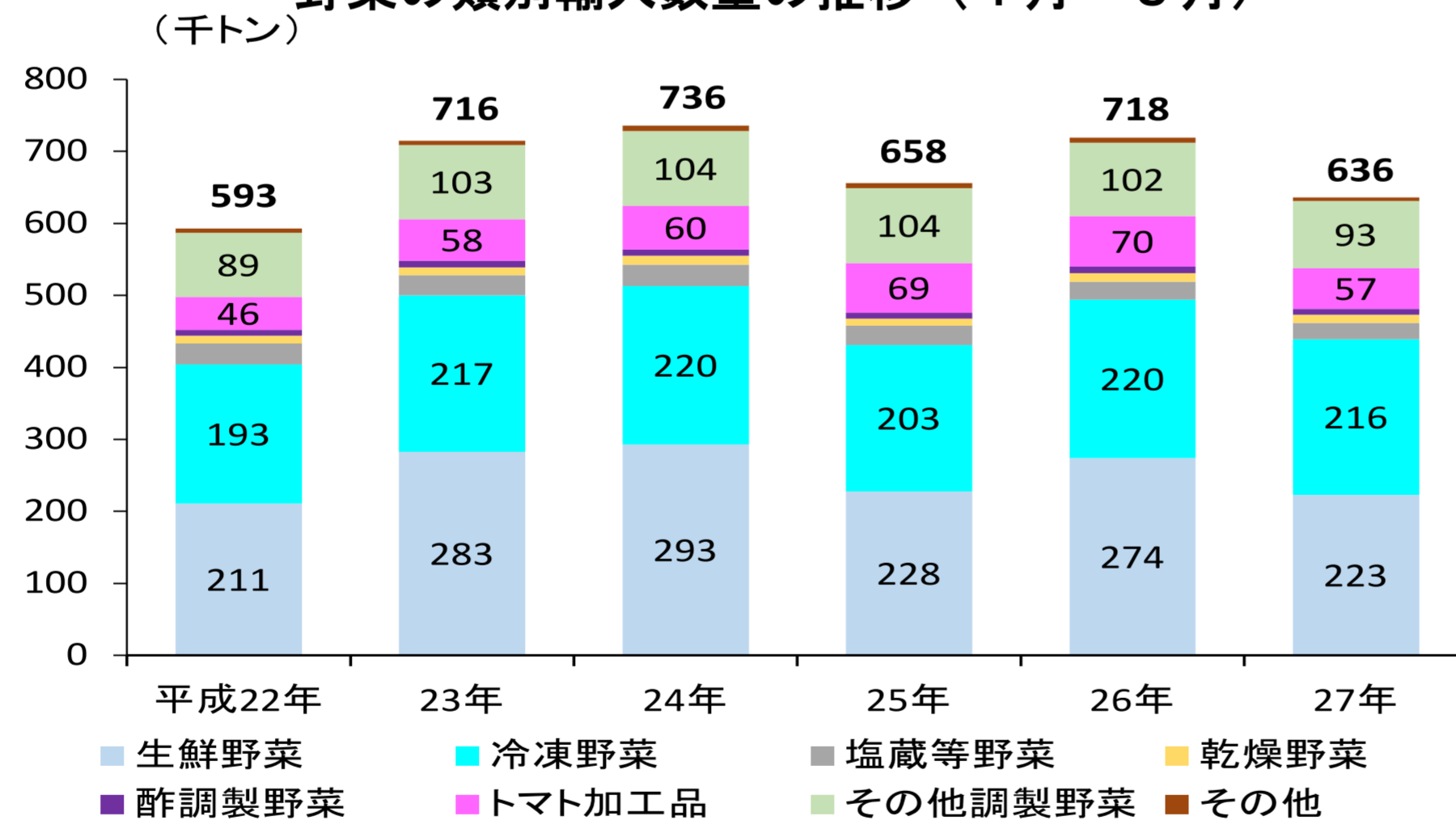
生鮮野菜は、輸入数量は国産の作柄不良から増加した前年に比べ、本年は国産の作柄が概ね良好であることから、前年同期比18.6%減の22.3万トンと大幅な減少となった。一方、輸入金額は、ジャンボピーマンやかぼちゃの輸入価格の円安による上昇などもあり、前年同期比10.1%減にとどまった。

冷凍野菜の輸入量は、2月の米国西海岸港湾労働争議の暫定合意を受け、米国産ばれいしょ、スイートコーンが増加したものの、さといもは、輸入の大宗を占める中国産が、作付面積の減少、中国国内の需要増加、主要産地の山東省の作柄不良により減少したことや、混合冷凍野菜が、日本国内の需要減少により減少したことから、前年同期比1.6%減の21.6万トンとなった。

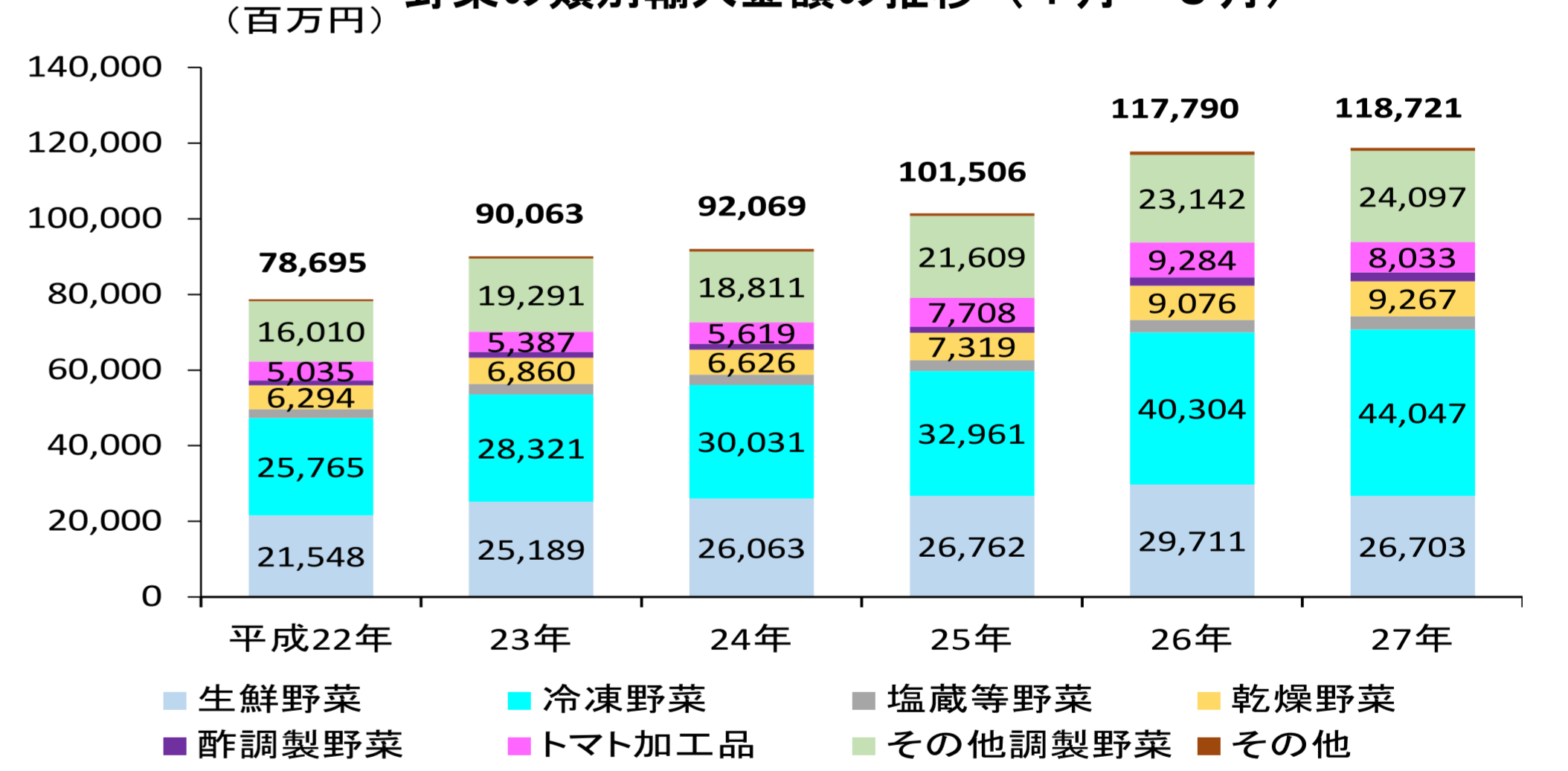
一方、輸入金額は、円安による輸入価格の上昇、主要輸入先国である中国における輸出価格の上昇により、前年同期比9.3%増の440億円とかなり増加した。

全体の輸入金額は、26年は過去最高(野菜の需給・価格動向レポート(平成27年2月23日)参照)であったが、27年1月～3月も高い水準が続き、輸入価格も上昇している。このため、最近では種々のコストアップ等から、国内では冷凍野菜や冷凍調理食品の販売価格の引き上げが相次いでいる。円安等もあって輸入品との価格差が縮まる国産野菜の安定供給の取組の重要性がますます高まっている。

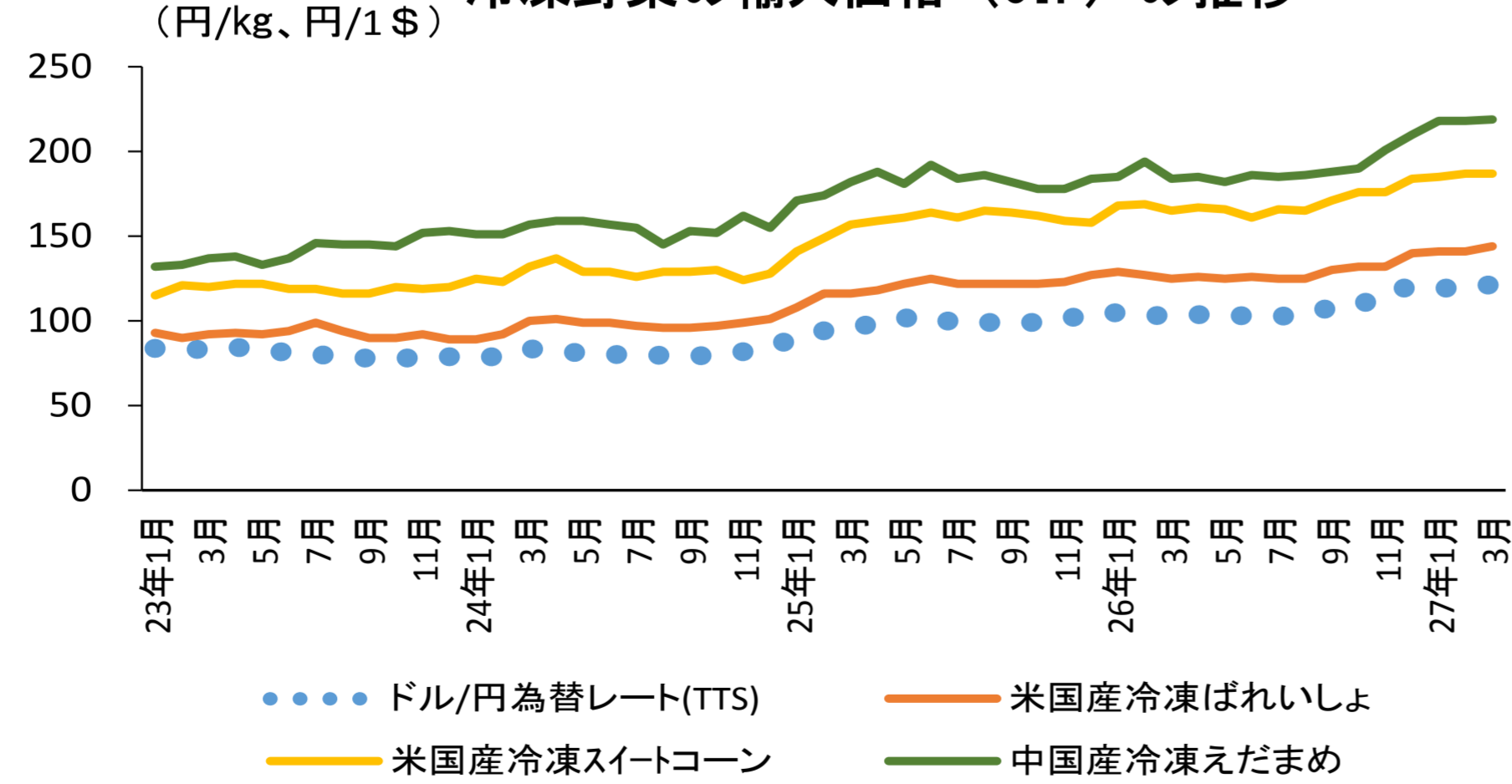
野菜の類別輸入数量の推移(1月～3月)



野菜の類別輸入金額の推移(1月～3月)



冷凍野菜の輸入価格(CIF)の推移



資料：ベジ探、原資料：財務省「貿易統計」

野菜の輸入増減率における品目別寄与度(1月～3月)

品目	2014年		2015年		2014年～2015年		2014年		2015年		2014年～2015年	
	輸入数量	増減数量	前年比	寄与度	輸入金額	増減金額	前年比	寄与度				
生鮮野菜	274,255	223,274	-50,981	-18.59	29,711	-3,008	-9.88	-10.12				
ジャンボピーマン	6,807	7,170	363	5.33	3,015	401	13.30	1.35				
かぼちゃ	47,030	47,989	959	2.04	3,756	419	11.19	1.29				
ねぎ	14,516	12,796	-1,720	-11.85	1,689	-227	-13.44	-1.76				
結球キャベツ	18,168	6,827	-11,341	-62.45	783	-287	-36.64	-3.79				
にんじん及びかぶ	19,974	12,909	-7,065	-35.38	1,207	688	56.97	5.75				
ごぼう	11,179	8,988	-2,191	-19.58	1,074	532	49.51	5.22				
ブロッコリー	7,565	3,589	-3,976	-52.57	1,417	863	60.91	6.18				
たまねぎ	97,720	75,267	-22,453	-23.00	5,604	3,890	69.42	5.77				
その他	51,296	47,623	-3,673	-7.16	11,167	249	2.23	0.84				
冷凍野菜	219,515	216,104	-3,411	-1.55	40,304	44,047	109.29	9.29				
ばれいしょ	82,261	83,681	1,420	1.73	6,655	12,479	186.76	18.67				
えだまめ	13,132	13,195	63	0.48	2,848	3,326	116.77	11.19				
スイートコーン	9,897	11,602	1,705	17.23	1,656	2,130	128.63	12.86				
ブロッコリー	9,262	9,503	241	2.60	1,772	2,127	120.03	12.03				
ほうれんそう等	9,048	9,576	528	5.84	1,445	1,745	120.70	12.07				
混合冷凍野菜	6,649	5,368	-1,281	-19.28	80.73	-144	-17.74	-1.77				
さといも	8,687	6,628	-2,059	-23.58	2,210	2,034	92.46	9.25				
その他	80,579	76,551	-4,028	-4.99	17,923	18,939	105.67	10.57				

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.aic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。

※断続転載せず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。